平成 27 年度　ＦＤ活動報告

地域保健学域　総合ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学類／総合ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　総リハ学類教育改革委員会が主体となり、研究科および学類、専攻の FD 活動を実施している。

２　ピア授業参観実施状況

期間	被参観授業数	参観者数	特記事項
前期			
後期			
年度合計			

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
10 月 2 日	平成 26 年度 コアプロ事業ＦＤセミナー 履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」スタートアップ・セミナー	セミナー	236
11 月 20 日	平成 26 年度 AP 事業大阪府立大学 FD セミナー「総合リハビリテーション学類における平成 27 年度反転授業の経過報告」	セミナー	32
12 月 10 日	平成 26 年度 AP 事業総リハ学類 FD セミナー「反転授業素材の作り方と留意点」	セミナー	16
12 月 21 日	第 1 回地域保健学域セミナー「FD カフェ」	セミナー	
3 月 8 日	平成 26 年度 AP 事業総リハ学類 FD セミナー「反転授業に関する内容検討」	セミナー	5
3 月 18 日	第 2 回地域保健学域セミナー「FD カフェ」	セミナー	23

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
総リハ学類教育改革委員会	学類合同での学域 FD 活動の企画、実施	1	4
地域保健学域 FD 合同委員会	FD カフェの内容の企画、実施	4	3

５　その他取り組みの具体的実施状況

・　大学院カリキュラム変更　大学院教育改革検討ワーキングによる検討結果をもとに、研究公正科目等共通教育科目の追加および専門科目の修正を行った。

- 学類　理学療法学専攻･作業療法学専攻　カリキュラム変更　より早期から専門科目の基礎知識の定着化を促進させたうえで、理学療法技術の習得を推し進め、地域社会や在宅での実践的な能力向上を目標とした教育課程を実施するため、28 年度からカリキュラムを変更する。
- 学類　栄養学専攻　カリキュラム変更準備　編入学廃止後に､より早期から専門科目の基礎知識が学べるよう、29 年度からカリキュラム変更に向けて準備している。
- 学類　臨床実習指導者会議の開催　のべ 200 施設以上の臨床実習施設（医療機関，社会福祉施設等）の臨床講師（実習指導者）参加のもと，臨床実習教育に関する討議，意見交換を行った。・理学療法学専攻では，5 月に２～４年次に関わる臨床実習指導者の参加のもと，専攻全教員とともに学内教育と臨床実習教育の融合について協議を行った。・作業療法学専攻では，前年度 3 月に 4 年次の実習に関わる指導者，7 月には 3 年次に関わる指導者と専攻教員との間でよりよい臨床教育のための協議を行った。
- 学類　授業内容検討会議（カリキュラムワーキング）　・学内授業の連携を図るために各授業の開始される前（4 月と 9 月）に事前協議を年 2 回行った。
- 大学院中間報告会への参加　全教員参加による中間報告会を 2 回開催し,院生への指導はもとより，教員間の研究指導に関する教育改革活動の一環としての活用を図った。
- 大学教育再生加速プログラム（AP）事業の推進　学生への iPad 貸与、反転学習効果評価のための介入前/介入後調査の実施、リーフレットの作成
- コア･プロジェクト-在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成-医療と在宅ケアの連携を推進する人材育成プログラム（平成 26 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」選定事業）の推進
- その他　学部/学類，大学院授業アンケート等，FD 関連のアンケートへの参加を学生に促した｡高等教育開発センター主催の各種 FD 研修会への参加　遠隔で行われた FD 研究会へ積極的に参加した。

平成 28 年度総合リハビリテーション学類/研究科 FD 活動計画（案）

・学類では臨床実習指導者会議，FD 研修、等につき例年同様の活動の充実を図って行く。
・学類　栄養学専攻では、編入学廃止に伴い、より早期から専門科目の基礎知識が学べるようなカリキュラム変更を、29 年度から行えるよう準備する。
・大学院では全教員参加による中間報告会を引き続き開催し，研究指導方法の更なる改善を図っていく。
・大学教育再生加速プログラム（AP）事業を引き続き推進する。
・コア・プロジェクト-在宅ケアを支えるリハビリ専門職の育成-医療と在宅ケアの連携を推進する人材育成プログラム（平成 26 年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」選定事業）を推進する。
・昨年度から開始した地域保健学域セミナー「FD カフェ」を 2 回開催する。
・その他　学部/学類，大学院授業アンケート等，FD 関連のアンケートへの参加を学生に促す。高等教育開発センター主催の各種 FD 研修会への参加、遠隔で行われる FD 研究会への参加を呼び掛ける。